

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境	25年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト			
事務事業名	環境マネジメントシステム(EMS)の運用	継続	拡大	維持	連絡先 連携課	052-654-7819
目的	対象(誰・何を)	本庁舎における環境負荷			事業 期間	平成15年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	継続的に低減し、環境目標を達成します。				
概要	本庁舎内において環境目的・環境目標を設定し、職員の環境意識向上を図るとともに、環境に配慮した施策を推進するなど、EMSを運用します。				根拠 法令等	
活動内容	6月に平成26年度のEMS環境目的及び環境目標の設定、ならびに環境プログラムの設定を行い、運用を開始します。 監視・測定として四半期ごとに各推進員から記録書の報告を受け、10月に内部環境監査を実施します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	1,484	432	38	651	事業費:ISO14001の認証を返上したため定期審査料は発生せず、11月までの登録維持料のみとなったため、事業費は減少している。
人件費	千円	7,409	5,694	6,607	6,570	
合計	千円	8,893	6,126	6,645	7,221	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
各種研修の対象職員受講率(%) (単年度管理型)	目標	-	-	100	100	EMSマニュアルで定めている各種研修の対象職員の受講率を算出します。	
	実績	100	100	100			
事業進捗状況(平成26年度)		<small>目標値を上回る</small> <small>目標値をやや下回る</small>			<small>目標値どおり</small> <small>目標値を下回る</small>		
改善指摘事件数(件) (単年度管理型)	目標	-	-	0	0	ISO14001認証維持審査において、改善指摘を受けないう、EMSの適切な運用を目指します。	
	実績	0	0	-			
事業進捗状況(平成26年度)					-		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	各種研修の受講率は100%であり、目標は達成されております。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○					

4 ACTION(取組)

課題	平成27年度以降の取組
指定管理施設も含めた、より実効性のある温室効果ガス削減に取り組まなければならない。また、EMS運営のいっそうの効率化をはかるため、本庁舎と現場事務所のEMSの統合を図る必要性があります。	平成27年度より、指定管理施設も指定管理者用のEMSを運用し温室効果ガス削減に努める予定です。また、同じく平成27年度より、本庁舎と現場事務所を統合した効率的な新しいEMSを運用していく予定です。